

もゆる浪漫

山形市立第八中学校たより
第2号 校長 長沼 政直
令和7年5月21日 発行

令和7年度 生徒会総会スローガン決定

今年度は、4月に修学旅行等があったため、時期を1週間ほどずらし、5月9日（金）に生徒会総会を行いました。内容としては、生徒会の規約改正、スローガン、生徒会行事、各専門委員会の年間計画についてです。

規約改正では、日常的に仕事の多い環境美化委員を各学級2名から4名にしたいという提案がなされ、承認されました。

また、生徒会スローガンは、これまで一文字で表すことが多かったのですが、次のように



Yes, we can. ～ 私たちの手で成功へ ～

と具体的な表現となり、より分かりやすく、強く訴えかけるものとなりました。

難しい課題に立ち向かおうとするとき、一人だけの力では困難と思えることも、八中生みんなが力を結集して協力することができれば、課題の克服ができるという思いから掲げたスローガンです。

さて、生徒会総会では、一人では改善が難しい問題として、次の3つの例が挙げられました。

(1) いじめに関する課題について

対策として、「いじめ防止集会」を開き、いじめ防止のための話し合いを行う。

(2) 目標に対する壁

対策として「掲示板」を設置して、みんなの意見を活発に取り入れる。また、昼の放送の時間を利用し、「八中ラジオ」という意見交換の場を設ける。

(3) 地域への貢献についての課題

対策として、地域でのボランティア活動にみんなで取り組むようにする。

生徒会が計画したこれらの対策を着実に実行し、納得感のある成果を上げてほしいと思います。

生徒総会は、これからなすべきことを知る場です。そして、これから、それを着実に実行することで一人ひとりの見えない学力（非認知能力）が高まります。年度当初から八中生に呼びかけている「知行合一」の大切さをあらためて意識し、生徒会が、全校生の協力のもと、計画した対策を着実に実行し、納得感のある成果を上げてほしいと思います。



<生徒会の目的を学級で確認しましょう。良い意見とは、その意見で八中が良くなるかどうか。>

規約第2条に、「この会は、生徒がお互いの理解や協力により自主的に活動し、校風を高め、学校生活の向上を目指し、立派な社会の一員として教養・態度を身につけることを目的とする。」とあります。ですから、生徒総会のような場で、十分意見を聞き、気持ちを受け止め、協力を得ることが大切です。そして、ここに書いてあるとおり、校風を守りつつ、自主性、社会人基礎力（教養・態度）を身につけることも必要です。何より私たちが向上するためであることを忘れてはなりません。

各学年の体験的な活動

1年生 山形市少年自然の家での校外学習

4月24日に山形市少年自然の家での校外学習を実施しました。当日は、雨模様（1）でしたが、屋内を中心とした活動（2）（3）に切り替え、楽しく研修できました。お昼は、野外炊飯（4）をしました。食べる場所は、屋内（5）になりましたが、どの場面でも仲間と声を掛け合い協力する姿が見られました。「みんなで・行動・全力で」を十分意識して学習を行うことができました。



(1) 雨の中の移動 (2) 全体写真 (3) レクリエーション (4) 野外炊飯 (5) 昼食

2年生 「キャリア学習」 農業体験学習

4月22日と25日に、あじさい営農組合の協力より、農業体験学習〔悪戸芋の定植（1）～（3）〕を行いました。悪戸地区でしか作っていない幻の悪戸芋を絶やさないように、あじさい営農組合を中心に栽培を始めた結果、現在では市場に出回るようになったそうです。初日は、定植の仕方を教わり、3人グループで100mほどの畝を、2日間で2列以上行いました。定植した芋畑には、ABC学年が植えた場所に看板（4）も飾ることができました。



定植作業（1） 定植作業（2） 定植作業（3） お話を聞く様子 ABC学年の看板（4）

3年生 修学旅行研修

「Together as one ～コミュニケーションを大切にし、仲間との絆を深めよう～」のスローガンのもと、4月22日～24日の3日間、関東方面へ新幹線（1）で修学旅行研修に行きました。1日目は、鎌倉研修（2）→シンフォニー・クルーズ（3）。2日目は、企業研修（集英社、大塚商会、日立システムズ、マルハニチロ、東レ、アース製薬）→東京ディズニー・シー（4）。最終日は、浅草を巡り、江戸切子づくり（5）や風鈴への絵付けなど、伝統文化を体験しました。



新幹線内（1） 鶴岡八幡宮（2） クルーズ船での夕食（3） ディズニー・シー（4） 江戸切子（5）